

第1回和光市公民館運営審議会 資料

令和7年7月15日(火)

地域学校協働本部について

◇ 地域学校協働活動とは？

幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「**学校を核とした地域づくり**」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う多様な活動。

- ・多くの幅広い層の地域住民が参画する。
- ・「学校を核とした地域づくり」を目指す。
- ・相互にパートナーとして連携・協働する。（目標の共有、対等の立場）

○ 地域学校協働活動（本部）の役割

学校 を核とした **地域** づくり

協働

協働は協力して働くことではなく、立場の異なる人たちが、同じ目的のために（目標に向けて）対等の立場で協力して共に働くこと。

和光市の仕組みづくり

市教育委員会

- ◇ 協議会の設置
- ◇ 委員の任命
- ◇ 協議会の適正な運営確保の措置

委員の任命に校長
の意見反映

学校運営に
関する意見

教職員の任用
に関する意見

コミュニティ・スクール

学校運営協議会設置校

(委員) 保護者代表、地域住民
地域学校協働活動推進員など

<学校運営協議会>

学校運営への必要な支援に関する
協議

説明

承認

説明

意見

校長

- ◇ 学校運営の基本方針

- ◇ 学校運営・教育活動

県教育委員会
教職員の任用
(学校運営協議会
の意見を尊重)

協議の結果に係る情報提供の努力義務

情報提供・協議を踏まえた支援活動

3 公民館拠点 (地域学校協働本部)
各中学校区地域学校協働活動本部推進会議

和光市
の特徴

地域学校協働本部

- ・ 市内3公民館に地域学校協働本部を設置し、CSチーフディレクター配置。
- ・ コミュニティ・スクールディレクター（地域学校協働活動推進員）各校に1名程度配置。
- ・ 地域コーディネーター（地域の方）各校学校運営協議会の中から1名選出。
- ・ 地域連携担当（各校教職員）

和光市の仕組みづくり

◇ 和光市コミュニティ・スクールディレクター等の役割（設置要綱から）

○ CSチーフディレクター（本部長）

- ・ 各学校からの支援活動などの依頼などの調整にあたる。所属校以外からの支援依頼については、各校で選出されるCSディレクターに連絡し、具体的な活動支援体制を構築する。

○ CSディレクター（地域学校協働活動推進員・各校選出）

- ・ CSチーフディレクター、地域コーディネーター、公民館館長と連携を図りながら、自校への具体的な支援体制を整える。

○ 地域コーディネーター（各校1名）

- ・ 自校の地域連携担当教員と連絡調整を図りながら、学校ニーズと学区内の地域住民の想いをつなげ、地域住民がボランティアとして参画する教育活動を推進する。

○ 地域連携担当教員

- ・ 地域学校協働活動を推進していく上で、学校の窓口となる教員である。学校の窓口を明確にすることで校内の体制を整備し、教育活動を効果的・効率的な展開が期待できる。

実際の活動状況

小学校への
学習支援



地域人材の活用

小学校クラブ
活動支援



公民館利用団体による支援

小学生の
公民館見学



公民館認知度向上

実際の活動状況

中学生への
学習支援



中学生の
面接練習支援



自習室
開放事業



高校生の学習支援

地域住民による支援

公民館の空き部屋利用